

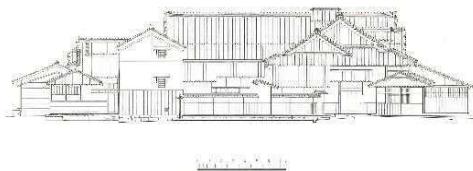
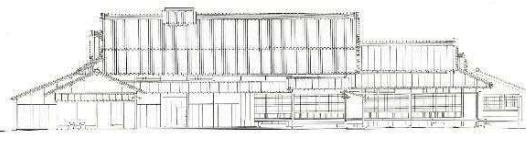
# 旧鴻池新田会所について

元禄一六年（1703年）、幕府の手によって河内平野を流れる大和川の付け替えが完成した後、旧河川は鴻池新田として開発されたこととなった。開発は町人請負で行われたが、大坂の鴻池善右衛門もそれに参加し、宝永五年（1708年）には高八七五石余、反別一二〇町歩余が納められた。その後、新田を経営・管理するための会所が設けられ、支配人が置かれた。現在の会所は、東西に長い台形状の敷地の周囲に濠を廻らし、その中央東寄りに本屋が建ち、北方に屋敷蔵が接続する。本屋の南と北には、表長屋門と裏長屋門、西には文書蔵・米蔵・道具蔵・乾蔵等が配される。昭和の中頃までは、さらにその西方に役宅が続いていた。建築年代については、古文書より本屋は新田開発当初の宝永四年（1707年）の建築と思われるが、宝曆九年（1759年）、嘉永六年（1853年）など度々改修され、現状の姿になっている。ことに座敷部は嘉永四年（1850年）新しくされたようである。文書蔵は天明六年（1786年）、米蔵は享和二年（1802年）、道具蔵は元文五年（1740年）、屋敷蔵は延享三年（1746年）の建築であることが、棟札や建物に残された墨書き等よりわかっている。

【令和6年度】

## 重要文化財

# 旧鴻池新田会所本屋ほか3棟 保存修理工事



旧鴻池新田会所は平成7年に大規模な修理工事を実施し、嘉永6年(1853)の姿に復原を行っている。

令和元年度に本屋、米蔵、道具蔵の耐震対策事業を実施した結果、3棟とも耐震補強を必要とすることが明らかとなつたため、令和4年度より補強工事の実施設計及び補強工事を行っている。また、屋敷蔵は、地盤沈下により建物が大きく北東へ傾斜していたため、併せて修理工事を行い、建物を水平に戻す工事を実施する。

旧鴻池新田会所本屋ほか3棟保存修理工事の概要	
建築年代	・[本屋] 一七〇七
	・[屋敷蔵] 一七四六
	・[道具蔵] 一七四〇
構造形式	・[本屋] 桁行二九・七m、梁間一・八m、入母屋造及び切妻造、段違、北面突出部、土蔵造、桁行五・〇m、梁間一一・八m、西面及び北面下屋附属、本瓦及び桟瓦葺
	・[屋敷蔵] 土蔵造、桁行七・八m、梁間四・九m、一階建、切妻造、本瓦葺
	・[米蔵] 土蔵造、桁行三・九m、梁間一〇・五m、切妻造、東面庇附属、本瓦葺
文化財指定	・[道具蔵] 土蔵造、桁行一三・六m、梁間七・六m、切妻造、東面庇附属、本瓦葺
工事期間	・昭和五五年一月一六日（文部省告示第八号）
修理方針	・部分修理（不陸修整、耐震補強ほか）

## 文化財建造物の保存修理工事について

文化財建造物は、地域の歴史や文化を今に伝える貴重な財産です。多くの建造物は常に風雨や雪等にさらされており、損傷や老朽化を避けられませんが、適切な時期に保存修理工事を行い、それを繰り返すことによって、より良い状態で後世に伝えていくことができます。

修理工事の際には建物の持つ価値や情報を失うことがないよう、丁寧に調査を行い、部材の再利用や技法の継承に努めることが重要です。工事期間中はご迷惑をおかけしますが、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【旧鴻池新田会所 所在地】	・大阪府東大阪市鴻池元町2番30号
【交通アクセス】	・学研都市線「鴻池新田駅」下車、南東へ徒歩5分(350m) ・近鉄奈良線「河内小阪駅」「八戸ノ里駅」近鉄けいはんな線「荒本駅」前から近鉄バス「鴻池新田駅行き」に乗車、終点で下車し、南東へ徒歩5分(350m)
※おねがい	・駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※おねがい	・駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



発注者 東大阪市  
設計監理 公財・文化財建造物保存技術協会  
施工 株式会社鳥羽瀬社建築

※このリーフレットは、重要文化財旧鴻池新田会所本屋ほか3棟保存修理工事に関する補助事業の一部として刊行しています。

(昭和44年10月30日撮影。平成7年度修理工事報告書より。)



平成7年度竣工当時の鴻池新田会所 全景

# 旧鴻池新田会所本屋ほか3棟保存修理工事について

修理工事の流れ

おおまかな流れ

耐震診断事業

（今は先行して実施済）

着手前

修理計画を立てる  
文化庁へ申請、工事決定

着手準備、工事入札実施

工事開始

事前調査

仮設工事

足場設置

解体工事

床板・土壁等解体

揚屋工事

屋敷蔵は北東隅の地盤沈下により最大で20cm傾いていた。がり回の揚屋工事で今度弱い建物が下がりました。解体中は破損の度合い、木の樹種や工芸、墨書きの有無などの調査を行いながら工事を進める。

屋敷蔵は北東隅の地盤沈下により最大で20cm傾いていた。がり回の揚屋工事で今度弱い建物が下がりました。解体中は破損の度合い、木の樹種や工芸、墨書きの有無などの調査を行いながら工事を進める。

米蔵・道具蔵は補強する。壁に耐震補強（構造用合板パネル）を設置。本屋は見えない

漆喰部壁補修など

竣工・工事完了

現在

工事完了



⑬米蔵合板上中塗状況



⑭米蔵合板上中塗完了



⑮米蔵補強格子加工中



⑯米蔵補強格子取付完了



⑰米蔵補強格子取付完了



⑱米蔵補強格子加工中



⑲鐵骨建て方完了

⑳鐵骨建て方完了



㉑鐵骨建て方完了



㉒鐵骨建て方完了



㉓鐵骨建て方完了



㉔床板解体(オトコベヤ)



㉕床板解体(オトコベヤ)



㉖床板解体(オトコベヤ)



㉗床板解体(オトコベヤ)



㉘床下鉄取り



㉙床下鉄取り



㉚床下鉄取り



㉛床下鉄取り



㉜足場設置



㉝足場設置



㉞足場設置



㉟足場設置



㉛解体工事



㉜解体工事



㉝解体工事



㉞解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



㉟解体工事



### 【本屋】オトコベヤ

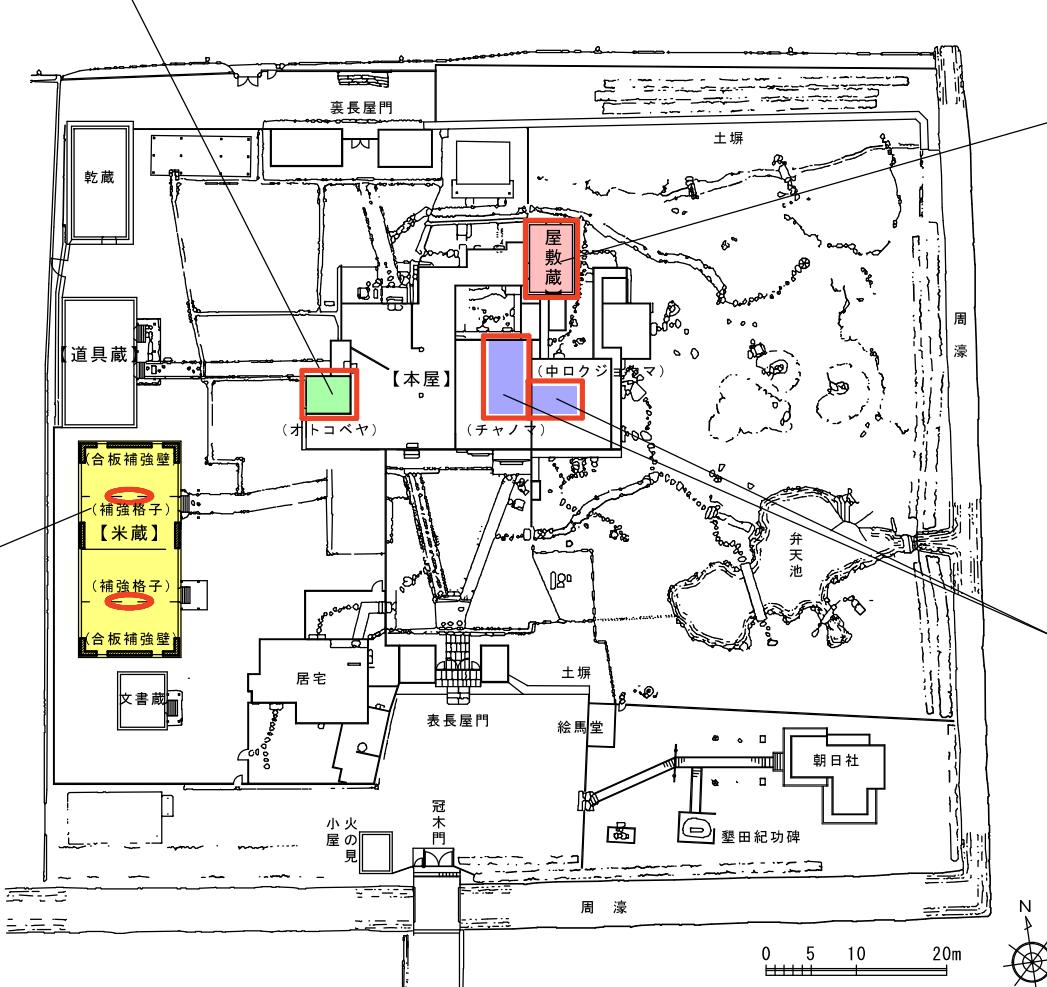
- ① 天井解体
- ② 床板解体
- ③ 床下鋤取り
- ④ 捨てコンクリート打設
- ⑤ 鉄骨製品検査
- ⑥ 鉄骨建て方状況
- ⑦ 鉄骨建て方完了

### 屋敷蔵

- ⑨ 漆喰解体
- ⑩ 下地補修
- ⑪ 砂漆喰塗施工中
- ⑫ 漆喰塗施工中

### 米蔵

- ⑬ 合板上中塗状況
- ⑭ 合板上中塗完了
- ⑮ 補強格子加工中
- ⑯ 補強格子取付完了



- ### 【本屋】 チャノマ・中ロクジョウマ
- ⑧ 鉄骨建て方完了

重要文化財 旧鴻池新田会所 配置図